

みやぎバイオ炭農地施用推進検討会 開催要領

1 目的

バイオ炭の農地施用については、令和元年度にJ-クレジット制度の方法論として認められ、普及にあたる課題や施用方法の確立が求められているところである。

宮城県においては、今年度からバイオ炭の農地施用の実現可能性について、試験研究と普及に向けての調査の中心とした事業を行っている。

また、令和5年3月には、宮城県みどりの食料システム戦略推進ビジョンの中で、バイオ炭の農地施用も含めたカーボンオフセットの推進の数値目標を設定し、推進を図っているところである。

今回の検討会では、令和5年度の事業の推進状況を報告し、宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画への反映や、来年度の事業計画、今後の推進方策等を検討するため、開催する。

2 開催日時等

- (1) 日時：令和6年2月1日（木） 午後1時30分から午後3時まで
- (2) 場所：仙都会館 4階会議室（仙台市青葉区中央2丁目2-10）
- (3) 参集範囲：JA宮城中央会、全農宮城県本部、各JA、県農政部関係課（農業政策室、農業振興課、農村整備課、農村振興課）、農業改良普及センター、農業・園芸総合研究所、古川農業試験場、関係農業者等

3 次第

- (1) 13:30～13:35 開会挨拶 (5分)
宮城県農政部みやぎ米推進課 課長 千葉 啓嗣
- (2) 13:35～14:05 試験研究進捗報告 (15分)
「バイオ炭の施用がダイズ畑の土壌および作物に与える影響の解明」
宮城県古川農業試験場作物環境部環境化学チーム 上席主任研究員 瀧 典明
「もみ殻に代わる次世代の暗きょ疎水材の検討」 (15分)
宮城県古川農業試験場水田営農部農村基盤チーム 技師 西 大基
- (3) 14:05～14:15 質疑応答 (10分)
- (4) 14:15～14:30 委託業務結果報告 (15分)
株式会社エックス都市研究所
- (5) 14:30～14:40 質疑応答 (10分)
- (6) 14:40～14:45 令和6年度の事業推進方向 (5分)
宮城県農政部みやぎ米推進課環境対策保全班
- (7) 14:45～14:50 宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画への反映について (5分)
宮城県農政部みやぎ米推進課環境対策保全班
- (8) 14:50～14:55 質疑応答 (5分)
- (9) 14:55～15:00 その他 (5分)
- (10) 15:00 閉会